

矯正・小児歯科学実習

責任者名：白川 哲夫(小児歯科学 教授)、本吉 満(歯科矯正学 教授)

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

白川 哲夫(小児歯科学 教授)

高森 一乗(小児歯科学 専任講師)

武井 浩樹(小児歯科学 助教)

石山 未紗(小児歯科学 助教)

本吉 満(歯科矯正学 教授)

中嶋 昭(歯科矯正学 准教授)

馬谷原 琴枝(歯科矯正学 准教授)

田村 隆彦(歯科矯正学 専任講師)

納村 泰弘(歯科矯正学 専任講師)

内田 靖紀(歯科矯正学 助教)

稲葉 瑞樹(歯科矯正学 助教)

◆一般目標 (GIO)

不正咬合の治療を行うために必要な装置の製作方法や器具・機材の使用方法を理解する。

小児の歯科治療のために保険の考え方と保険装置の製作・使用方法を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

「矯正装置とその作用」

- ①矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
- ②矯正装置の種類と特徴, および使用目的を説明できる。
- ③矯正治療に必要な力学を説明できる。

「乳歯用既製金属冠を用いた保険装置の設計と作製」

- ①咬合誘導の概念を説明できる。
- ②保険の目的と種類, 適応症を説明できる。
- ③保険装置の設計と作製法および使用上の留意点を説明できる。

◆評価方法

実習成果物 (80%) とフィードバック方法 (20%) で評価する。

フィードバックは実習中・実習成果物を採点時に良い点, 悪い点を指摘する。

フィードバック方法においては実習前の説明・解説で行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
------	-----------	-------------	----

本吉 満	月曜日 17:00～18:00・歯科矯正学講座 研究室		
白川 哲夫	月曜日 17:00～18:00・小児歯科学講座 研究室		

◆授業の方法

実習開始前にインストラクターが当日の説明・解説をし、実習のデモンストレーションを行った後に実習を行う。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	小児歯科学基礎・臨床実習 第 2 版	前田隆秀, 福田 理, 白川哲夫, 牧 憲司	医歯薬出版	2014 年
教科書 2	MANUAL FOR ORTHODONTIC BASIC TRAINING	日本大学歯学部矯正 学教室	中島印刷	2020 年

◆DP・CP

[DP-3]

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP-4]

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP-4]

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前にシラバスおよび教科書を読んで、実習内容を理解しておくこと。

◆準備学習時間

毎回の実習の前に、60分程度の時間を充てて予習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		9.7	3	小児の咬合管理の 実際 1) 乳歯冠修復の特 徴・支台歯形成の 実際 (教1)pp.55-62	乳歯の全部被覆冠の種類と適応症を 説明できる。 乳歯冠装着のための支台歯形成の手 順とバーなどの器具の使用法を説明 できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
2		9.8	1 ～ 4	1. Crown Loop 保 隙装置の製作 担当教員紹介 実習器材器具配 布・点検 1) 乳歯冠装着のた めの支台歯形成 (教1)pp.55-62	乳歯の全部被覆冠の種類と適応症を 説明できる。 乳歯冠装着のための支台歯形成の手 順とバーなどの器具の使用法を実施 できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
3		9.14	3	1. Crown Loop 保 隙装置の製作 2) 乳歯冠の選択・ 調整の方法 (教1)pp.55-62	乳歯冠の調整法，調整用プライヤー の種類と使用法，仕上げ研磨法，装 着法などを説明できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
4		9.15	1 ～ 4	1. Crown Loop 保 隙装置の製作 2) 乳歯冠の調整 (教1)pp.55-62	乳歯冠の調整法，調整用プライヤー の種類と使用法，仕上げ研磨法，装 着法などを実施できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療
5		9.28	3	1. Crown Loop 保 隙装置の製作 ループ型保隙装置	Crown Loop 保隙装置について，そ の適応症ならびに構造などについて 説明できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の 歯科治療

				の特徴とその設計 (教1)pp.73-78	乳歯冠の試適から、印象、作業模型の製作、ループの設計、Wire Loop 屈曲、Wire Loop と乳歯冠のろう着、研磨、合着までの流れを説明できる。		
6		9.29	1 ～ 4	1. Crown Loop 保隙装置の製作 3)設計、Wire Loop 屈曲 (教1)pp.73-78	Crown Loop 保隙装置について、その適応症ならびに構造などについて説明できる。 Wire Loop の屈曲法を理解し、プライヤーの使用法を実施できる。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
7		10.5	3	Crown Loop 保隙装置についての課題学習	Crown Loop 保隙装置について第1～7回までの内容について課題を提示しレポートを作製する。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
8		10.6	1 ～ 4	1. Crown Loop 保隙装置の製作 「平常試験」	第1～6回までの内容について筆記試験を行い、習得度を確認する。	小児歯科学	E-4-2) 小児の歯科治療
9		10.12	3	矯正治療の実際 1.自在ろう着 1)自在ろう着の説明 (教2) pp.23-32 2)タイポドントの調整 (正常咬合)の説明	ワイヤーが焼純され、弾性を失うことを防ぐためのろう着法を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
10		10.13	1 ～ 4	担当教員紹介 実習器材器具配布・点検 矯正治療の実際 1.自在ろう着 1)担当教員紹介 2)器材の貸与、検	ワイヤーが焼純され、弾性を失うことを防ぐためのろう着法を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				<p>査</p> <p>3)自在ろう着 (教 2) pp.23-32</p> <p>4)タイポドントの調整 (正常咬合)</p> <p>「平常試験」</p>			
11		10.19	3	<p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>1)上顎中切歯の舌側転位のセットアップの説明</p> <p>2)上顎第一大臼歯のバンド試適の説明</p> <p>3)維持装置の仮着の説明</p> <p>4)作業模型の製作の説明</p> <p>5)ST ロックの脚部の屈曲の説明</p> <p>6)主線の屈曲の説明</p> <p>(教 2) pp.33-50</p>	<p>中切歯の舌側転位を実施できる。</p> <p>バンドの歯への適合と装着を実施できる。</p> <p>維持装置の構造を理解し、操作できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
12		10.20	1 ～ 4	<p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>1)上顎中切歯の舌側転位のセットアップ</p> <p>2)上顎第一大臼歯のバンド試適</p> <p>3)維持装置の仮着</p> <p>4)作業模型の製作</p> <p>5)ST ロックの脚部の屈曲</p> <p>6)主線の屈曲</p> <p>(教 2) pp.33-50</p>	<p>中切歯の舌側転位を実施できる。</p> <p>バンドの歯への適合と装着を実施できる。</p> <p>維持装置の構造を理解し、操作できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				「平常試験」			
13		10.26	3	<p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>7) 維持装置の溶接の説明</p> <p>8) 補助弾線のろう着の説明</p> <p>9) 装置の研磨の説明</p> <p>10) セメント合着の説明</p> <p>11)ダンキング (教 2) pp.33-50</p>	<p>維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、操作できる。</p> <p>補助弾線を屈曲し、操作できる。</p> <p>補助弾線による上顎中切歯の唇側移動の様相をダンキングによって実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
14		10.27	1 ～ 4	<p>2.上顎舌側弧線装置</p> <p>7) 維持装置の溶接</p> <p>8) 補助弾線のろう着</p> <p>9) 装置の研磨</p> <p>10) セメント合着</p> <p>11)ダンキング (教 2) pp.33-50</p> <p>「平常試験」</p>	<p>維持装置の溶接と補助弾線のろう着は異なることを理解し、操作できる。</p> <p>補助弾線を屈曲し、操作できる。</p> <p>補助弾線による上顎中切歯の唇側移動の様相をダンキングによって実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
15		11.2	3	<p>3.拡大装置</p> <p>1) 不正咬合のセットアップの説明</p> <p>2) 上顎第一大臼歯および第一小白歯へのバンドの試適の説明</p> <p>3) 作業模型の製作の説明</p> <p>4) 拡大ネジの脚部の屈曲の説明</p> <p>5) 補助ワイヤーの</p>	<p>上顎急速拡大装置の構造を理解し、創造できる。</p> <p>上顎急速拡大装置のラボワークを実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				<p>屈曲の説明 (教 2) pp.51-63</p>			
16		11.9	3	<p>3.拡大装置 6) ろう着の説明 7) 研磨の説明 8) セメント合着の説明 9) ダンキングの説明 (教 2) pp.51-63</p>	<p>拡大装置の操作方法を実施でき、拡大量を測定できる。</p>	<p>歯科矯正学</p>	<p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>
17		11.10	1 ～ 4	<p>3.拡大装置 1) 不正咬合のセットアップ 2) 上顎第一大臼歯および第一小臼歯へのバンドの試適 3) 作業模型の製作 4) 拡大ネジの脚部の屈曲 5) 補助ワイヤーの屈曲 (教 2) pp.51-63 「平常試験」</p>	<p>上顎急速拡大装置の構造を理解し、創造できる。 上顎急速拡大装置のラボワークを実施できる。</p>	<p>歯科矯正学</p>	<p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>
18		11.16	3	<p>4.マルチブラケット装置 1) 正常咬合排列の説明 2) 上下顎第一大臼歯バンドへのチューブの電気溶接とセメント合着の説明 3) 上下顎歯列へのブラケット接着の</p>	<p>正常咬合の上下の歯の接触状態を説明できる。 エッジワイズブラケット、チューブの正しい位置づけ法を実施できる。</p>	<p>歯科矯正学</p>	<p>E-4-1) 不正咬合の治療</p>

				説明 (教 2) pp.65-76			
19		11.17	1 ～ 4	3.拡大装置 6) ろう着 7) 研磨 8) セメント合着 9) ダンキング (教 2) pp.51-63 「平常試験」	拡大装置の操作方法を実施でき、拡大量を測定できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
20		11.24	1 ～ 4	4.マルチブラケット装置 1) 正常咬合排列 2) 上下顎第一大臼歯バンドへのチューブの電気溶接とセメント合着 3) 上下顎歯列へのブラケット接着 (教 2) pp.65-76 「平常試験」	正常咬合の上下の歯の接触状態を説明できる。 エッジワイズブラケット, チューブの正しい位置づけ法を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
21		11.30	3	4.マルチブラケット装置 4)ワイヤーベンディングの基礎訓練の説明 (教 2) pp.77-84	各種ループの屈曲を実施でき、作用を説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
22		12.1	1 ～ 4	4.マルチブラケット装置 4)ワイヤーベンディングの基礎訓練	各種ループの屈曲を実施でき、作用を説明できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				(教 2) pp.77-84 「平常試験」			
23		12.7	3	4.マルチブラケット装置 5)不正咬合排列の説明 I 級症例：上顎犬歯の低位唇側転位と下顎前歯部叢生 (教 2) pp.97-99 6) アーチワイヤーの屈曲：ステップ 1 の説明 (教 2) pp.85-97	I 級不正咬合の症例の治療ステップを説明できる。 ラウンドワイヤーによるアーチワイヤーの屈曲を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
24		12.8	1 ～ 4	4.マルチブラケット装置 5)不正咬合排列 I 級症例：上顎犬歯の低位唇側転位と下顎前歯部叢生 (教 2) pp.97-99 6) アーチワイヤーの屈曲：ステップ 1 (教 2) pp.85-97 「平常試験」	I 級不正咬合の症例の治療ステップを説明できる。 ラウンドワイヤーによるアーチワイヤーの屈曲を実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

25	12.9	3	<p>4.マルチブラケット装置</p> <p>7) 結紮, ダンキングの説明</p> <p>8) アーチワイヤーの屈曲: ステップ2の説明</p> <p>9) 結紮, ダンキングの説明</p> <p>10) アーチワイヤーの屈曲: ステップ3の説明</p> <p>11) 結紮, ダンキングの説明</p> <p>(教 2) pp.98-103</p>	<p>アーチワイヤーの装着と結紮を実施できる。</p> <p>レベリングで歯の移動方向をダンキングにより実施できる。</p> <p>ステップ2と3のアーチワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。</p> <p>歯の移動方向をダンキングにより実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
26	12.10	1 ~ 4	<p>4.マルチブラケット装置</p> <p>7) 結紮, ダンキング</p> <p>8) アーチワイヤーの屈曲: ステップ2</p> <p>9) 結紮, ダンキング</p> <p>10) アーチワイヤーの屈曲: ステップ3</p> <p>11) 結紮, ダンキング</p> <p>(教 2) pp.98-103</p> <p>「平常試験」</p>	<p>アーチワイヤーの装着と結紮を実施できる。</p> <p>レベリングで歯の移動方向をダンキングにより実施できる。</p> <p>ステップ2と3のアーチワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。</p> <p>歯の移動方向をダンキングにより実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
27	12.14	3	<p>4.マルチブラケット装置</p> <p>12) アーチワイヤーの屈曲: ステップ4の説明</p>	<p>ステップ4のアーチワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。</p> <p>歯の移動方向をダンキングにより実施できる。</p>	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

				13) 結紮, ダンキングの説明 (教 2) pp.103-110			
28		12.15	1 ~ 4	4.マルチブラケット装置 12) アーチワイヤーの屈曲：ステップ4 13) 結紮, ダンキング (教 2) pp.103-110 「平常試験」	ステップ4のアーチワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。 歯の移動方向をダンキングにより実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
29		12.21	3	4.マルチブラケット装置 14)アーチワイヤー(レクト)の屈曲：ステップ5の説明 15)結紮, ダンキングの説明 (教 2) pp.111-122	レクトアンギュラーワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。 歯の移動方向をダンキングにより実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療
30		12.22	1 ~ 4	4.マルチブラケット装置 14)アーチワイヤー(レクト)の屈曲：ステップ5 15)結紮, ダンキング (教 2) pp.111-122 「平常試験」	レクトアンギュラーワイヤーの屈曲の目的を理解し、実施できる。 歯の移動方向をダンキングにより実施できる。	歯科矯正学	E-4-1) 不正咬合の治療

			プレイヤーの清掃 返却			
--	--	--	----------------	--	--	--

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
小児歯科学	2007	高森 一乗
	2292	武井 浩樹
	2675	石山 未紗
	1537	白川 哲夫
歯科矯正学	915	田村 隆彦
	1203	中嶋 昭
	1285	納村 泰弘
	1367	内田 靖紀
	1972	馬谷原 琴枝
	2168	稲葉 瑞樹
	1075	本吉 満

